令和２年度　一般入学試験「小　論　文」

下記の文章を読んで、このお母さんにとってより苦しみに満ちた物語を作り出すことにどのような意味があったのかを考えたうえで、筆者の言う「人間が作り出す物語の尊さ」(文中の下線部)とはどういうことかを 400〜600 字で説明しなさい。

この問題は著作権の関係により掲載できません。

（小川洋子『物語の役割』ちくまプリマー新書、2007 年。表記を一部改変している。）